

施策番号	2005		
施策名	歩行者と共存可能な自転車利用の促進		
概要	駐輪施設の整備や放置自転車の撤去及び放置防止啓発活動を実施することにより、歩行者等の通行を妨げ、まちの景観を損なう放置自転車の減少を目指すとともに、自転車利用ルール・マナーの向上を図り、歩行者と自転車が安心・安全で快適に通行できる環境を実現する。		
担当局・部室	建設局・自転車政策推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関する 主な分野別計画等	京都・新自転車計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	26年度	27年度	28年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト	
1 鉄道駅周辺における駐輪場の整備状況(台)	a	a	49,784	50,066	50,941台	98.3%	b	1.00	
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度	27年度	28年度回答						
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1 駐輪場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。	c	d	34 6.6%	126 24.4%	161 31.1%	115 22.2%	81 15.7%	517	c
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
		c	d	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					27年度	C
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	b	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 安全で安心できる歩行空間は、市民に実感されることが重要であるため、市民生活実感評価を重視する。						26年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・京都・新自転車計画の策定や道路交通法の改正等により、駐輪場整備やマナー向上の取組を推進しているが、まだ、市民に自転車と歩行者の共存が実感されていないことが原因と考えられる。 ・昨年度のd評価からは改善が見られるものの、上記の理由などから、自転車と歩行者の共存について、「そう思わない」、「どちらかというと思わない」が4割弱となり、c評価になったと考えられる。 							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	自転車駐輪環境の「みえる化」	626,099	478,195	良い	建設局
2	自転車ルール・マナーの「みえる化」	62,660	95,223	普通	建設局
3	市営自転車等駐車場	28,443	456,644	—	建設局
4	京都市山科駅前駐車場 (ラクト駐車場)	80,991	83,043	—	建設局
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・京都市内の鉄道駅周辺において、「民間自転車等駐車場整備助成制度」の活用等により、更なる駐輪施設の整備を目指す。

・自転車と歩行者の共存が課題となっていることから、上記施設整備と合わせ、自転車利用者のルール・マナーの啓発の推進により、危険な自転車利用や放置自転車を減少させ、安心・安全で快適な歩行空間の確保を目指す。具体的には、自転車安全教室の開催や、自転車の放置防止及び駐輪施設利用促進の啓発活動について、市民のニーズに応えながら、地域団体や関係機関との共汗・融合により更なる充実を図る。

施策名	2005	歩行者と共存可能な自転車利用の促進					
指標名	鉄道駅周辺における駐輪場の整備状況（台）						
担当課	自転車政策推進室	連絡先	2 2 2 - 3 5 6 5				
1 指標の説明							
京都市内の鉄道駅周辺における駐輪場の整備状況							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
歩いて楽しく、環境にやさしく美しい都市空間の確保に向けた共汗の取組による放置自転車対策の進捗状況を示す指標			算出方法：京都市における過去3年間（平成24年度～平成26年度）の鉄道駅125駅周辺の駐輪場の整備実績の平均台数				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度	
数値	49,784	50,066	282台増	50,941台	23年度～25年度実績の平均値	98.3%	
	全国順位	中長期目標			備考	評価期間中の取組状況をより正確に反映するため、目標値等を変更	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値		58,616	32年度	85.4%	23～25年度実績の平均値（1,535台）を毎年度達成した場合の累計値		
5 評価基準		6 基準説明			7 評価結果		
単年度目標値に対する達成率 a:100%以上 b:95%以上100%未満 c:90%以上95%未満 d:85%以上90%未満 e:未整備～85%未満		市内の鉄道駅周辺における駐輪場のうち本市関連整備（直営整備，民間自転車等駐車場整備助成金制度を活用した整備，公募等による事業者整備）及び鉄道事業者による整備収容台数と目標収容台数を比較し，その達成率で評価する。			26	27	28
					a	a	b